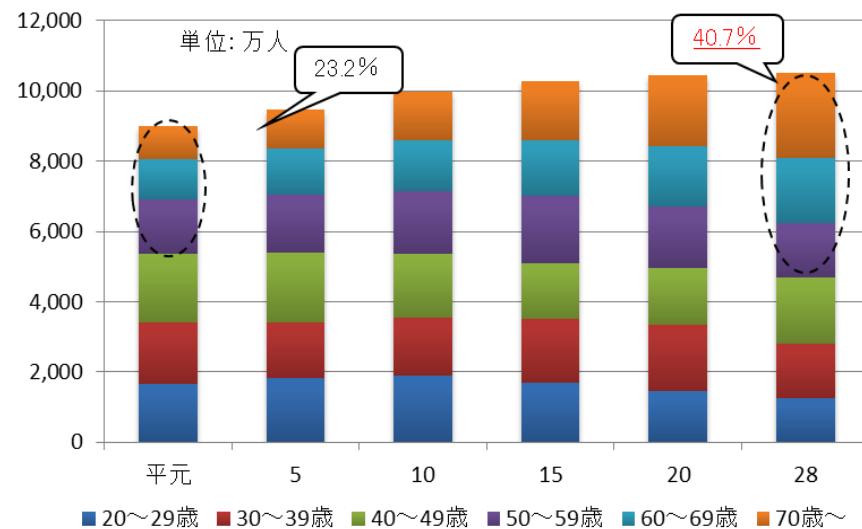


酒レポート（平成30年3月）正誤表

正	誤
<p>1 酒類業を取り巻く環境</p> <p>(1) 国内市場環境</p> <p>国内の市場環境は、平成20年に1億2,808万人であった人口が減少過程に入っており、その構成においても、成人人口に占める60歳以上の割合が、平成元年度の23.2%から平成28年度には<u>40.7%</u>へ増加するなど、人口減少社会の到来、高齢化が進展しています。【図1、図2参照】</p> <p>飲酒習慣のある者は、男女ともに30歳代から大幅に増加し、70歳以上では減少する傾向がありますので、人口構成の変化が酒類の消費に与える影響は大きいものと考えられます。【図3参照】</p> <p>このような環境の変化を背景に、酒類の販売（消費）数量は平成8年度の966万KLをピークとして減少してきています。【図4参照】</p> <p>(以下省略)</p>	<p>1 酒類業を取り巻く環境</p> <p>(1) 国内市場環境</p> <p>国内の市場環境は、平成20年に1億2,808万人であった人口が減少過程に入っており、その構成においても、成人人口に占める60歳以上の割合が、平成元年度の23.2%から平成28年度には<u>37.6%</u>へ増加するなど、人口減少社会の到来、高齢化が進展しています。【図1、図2参照】</p> <p>飲酒習慣のある者は、男女ともに30歳代から大幅に増加し、70歳以上では減少する傾向がありますので、人口構成の変化が酒類の消費に与える影響は大きいものと考えられます。【図3参照】</p> <p>このような環境の変化を背景に、酒類の販売（消費）数量は平成8年度の966万KLをピークとして減少してきています。【図4参照】</p> <p>(同左)</p>

正

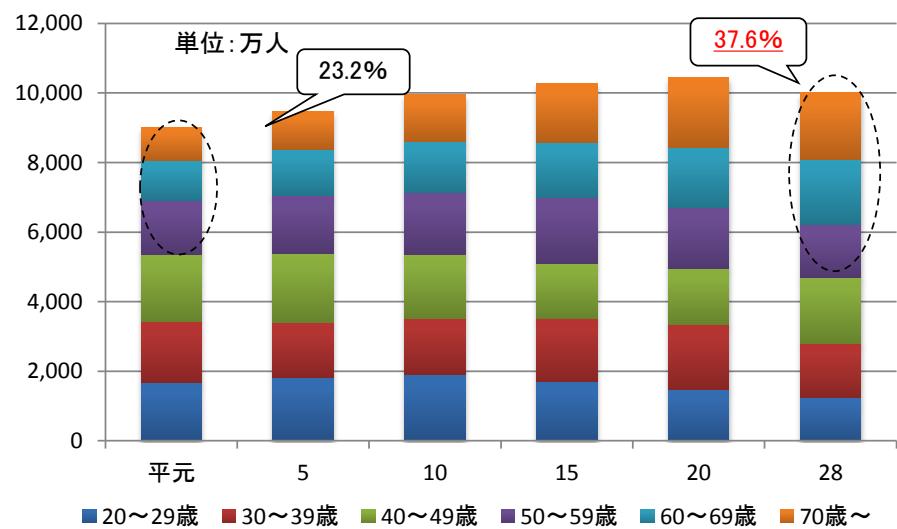
図2 成年人口の推移（年齢層別）



資料：国勢調査結果・人口推計（総務省統計局）

誤

図2 成年人口の推移（年齢層別）



資料：国勢調査結果・人口推計（総務省統計局）

